

加藤 和歳

カウ カズトシ/KATO Kazutoshi



所属／職名

学芸調査室 文化財科学班／文化財科学班長
(学芸員)

専門分野

保存科学、記録史料学

研究分野

保存環境、保存修復、構造技法

【業務・研究内容】

- 業務は、博物館をはじめとする文化財施設の展示・保存環境の調査研究と整備、科学的手法による文化財の調査研究、自然災害により被災した文化財のレスキューや保存修復、文化財保存、施設整備に関するレファレンス、班の総括を担当しています。
- 研究は、博物館資料の構造技法解析、ライブラリー（図書のみならず、文書等記録すべて）の保存環境整備に取り組んでいます。また、X線CT等デジタル計測技術による船原古墳（福岡県古賀市）出土遺物の構造技法解析に力を入れています。
- 東京の練馬から、奈良、岡山を経て、福岡に来ました。これまで、地域の文化財を科学の力で調査研究し、未来に伝えつつ、活用することに関わってきました。最近の研究で得た3DデータをVRコンテンツでみなさんと楽しむことを試みています。

【主要業績】

●主な論文・著作物・学会発表

1. 「子どもたちを対象とした博物館における文化財VR体験に関する検討」『文化財保存修復学会第44回大会研究発表要旨集』文化財保存修復学会2022（共著）
2. 「船原古墳出土歩揺付飾金具（雲珠）の構造技法解析」『日本文化財科学会第39回大会研究発表要旨集』日本文化財科学会2022（共著）
3. 『X線CTスキャナによる船原古墳出土遺物の研究』九州歴史資料館2020
4. 「被災した組織体文書記録の応急処置と保存管理に関する検討 -平成29年7月九州北部豪雨による被災資料を事例として-」『九州歴史資料館研究論集』45 2020
5. 「保存履歴を活かした記録資料の保存管理に関する検討 -伊東尾四郎文書を事例として-」『レコードマネジメント』77号 記録管理学会2019

●主な担当展示

1. 企画展「船原古墳の世界」2019年 九州歴史資料館
2. 企画展「大宰府を探るサイエンス」2017年 九州歴史資料館